

■上原敬二 造園家、林学博士。日本の造園学、造園設計、造園教育の確立を主導した。

うえはらけいじ

帝国憲法発布1889= 東京市深川区富岡門前町で、上原安平・つねの次男に生れる。

日清戦争始・1894= 5歳：

子規句歌革新1898= 9歳：

日露戦争終・1905=16歳：

韓国反日暴動1907=18歳：

アヲキ創刊・1908=19歳：東京府立第三中学校を卒業し、第一高等学校大学予科に入学、

大逆事件判決1911=22歳：卒業し、東京帝国大学農科大学入学、

明治天皇没・1912=23歳：

第一次大戦始1914=25歳：卒業し、大学院に進んで、森林美学を専攻、

21ヶ条要求・1915=26歳：明治神宮造営局技手に任命され、大学院での研究を中断して、本多静六の仕事を手伝う。

民本主義・1916=27歳：

本格政党内閣1918=29歳：依願免官し、*上原造園研究所を創立するとともに、東京帝国大学大学院に再入学して、造園学、樹木学、建築学を専攻。日本庭園協会の発足にも携わる。

ベルサイユ条約・1919=30歳：甲陽園設計(兵庫県)、日本ライン風景地計画(犬山市)などの業務を始め、大学院を辞めて、

大暴落・・・1920=31歳：「神社林の研究」論文で林学博士取得後、造園学と公園事業を学ぶためアメリカへ私費留学、

原敬首相暗殺1921=32歳：「東京日々新聞」に、アメリカの国立公園の紹介や、流行する日本庭園の卑俗さなどを連載して、帰国。

水平社結成・1922=33歳：「石組園生八重垣伝」「庭園學概要」、以後、毎年のように著述出版、

関東大震災・1923=34歳：内務省委嘱でアメリカ・カナダのナショナルパークの調査に出張。大震災後、帝都復興院技師になるが、

護憲三派圧勝1924=35歳：東京女子大学校庭設計。*造園技術者の養成が必要と、依願免官し、渋谷常磐松の東京農業大学のキャンパスの一角を借り、東京高等造園学校設立して校長に就任。

治安維持法・1925=36歳：副業博覧会場庭園設計(東京上野)、社団法人日本造園学会、社団法人日本児童遊園協会を創立。

この間、全国諸所からの委託による庭園、公園の設計、風景地計画なども次々こなしながら、

金融恐慌・・・1927=38歳：アメリカ政府主催の汎太平洋学術会議に政府代表出席を兼ねて、国立公園施設の調査、熱帯林調査を委嘱され、ハワイに出張。アメリカ国立公園局長からは日本国立公園情報事務を委嘱されている。

共産党事件・1928=39歳：大札記念博覧会場庭園設計(東京上野)、

海軍軍縮条約1930=41歳：徳島県庁前庭設計、法政大学総合運動場設計(東京喜多見)、茨城県立大洗海岸公園・筑波山公園設計。朝鮮総督府の委嘱で、金剛山保勝経営調査、風景計画、平壤牡丹台公園改造計画、京城府庁前広場設計、

満州事変・・・1931=42歳：東京高等造園学の校長を辞職。小ゴルフ場やクラブハウス、

帝人疑獄事件1934=45歳：笠間神社の神苑、

芥川直木賞始1935=46歳：この年、アメリカン・ガーデン・クラブのメンバーが来日し、新聞でも話題になったが、アメリカ人の日本庭園への理解には懐疑的であった。

二二六事件・1936=47歳：大阪杉生村分譲地自動車路網まで設計するようになった。

日中戦争始・1937=48歳：朝鮮京城府より公園計画技務を委嘱され、京城府総督府博物館庭園、京春鉄道退溪院遊園地設計、

総動員+健保 1938=49歳：日本造園士会を創立、再び、京城府委嘱で、白山温泉地総合計画、朝鮮総督官邸内自然林、元山府防空林・海水浴場、仁川公園ほか多数の設計や計画を行う。

第二次大戦始1939=50歳：この年には、アメリカの日本庭園ブームに疑問を呈している。

日米開戦・・・1941=52歳：この年には数十の設計、計画を受託し、研究所の業務はピークになった。

近代の超克・1942=53歳：この年、東京高等造園学校は東京農大に併合され、専門部の造園科になる。

創価学会検挙1943=54歳：「日本風景美論」、

敗戦・・・1945=56歳：

敗戦前後は活動が沈滞するが、年2,3の設計、計画はしていた。

独立回復・・・1951=62歳：

メデ-事件・1952=63歳：

TV放送始・・・1953=64歳：東京農業大学教授に就任し、

自衛隊発足・1954=65歳：東京農業大学農場ロザリウム設計、

美智子妃・・・1959=70歳：*定年退職、引続き講師を務める。以後数年、「ガーデンシリーズ」、

安保闘争・・・1960=71歳：

タイタイ病始・1961=72歳：「樹芸学叢書」の各巻をまとめ、

全国総合計画1962=73歳：「樹木ガイドブック」。この間も、全国諸所からの委託で、年2,3の設計、計画をこなしながら、

東京リビ-ック 1964=75歳：この年は、カールスルーエ市の日本庭園築造を委嘱されて、西ドイツに渡航したほか、東南アジア諸国の造園調査、東京農業大学欧州研修団、ハワイ、アメリカの造園調査など、一気に海外渡航が始まり、

大学紛争始・1965=76歳：台湾の樹木調査に渡航、カールスルーエ市の公園改造施工監理、

いざなぎ景気1966=77歳：西ドイツのシュツットガルト市における国際造園会議出席のため渡欧、台湾大学学生指導のため渡航し、台中市の宝覺寺庭園も設計、

美濃部都知事1967=78歳：エジプト、ギリシャ、トルコの造園調査、カールスルーエ市日本庭園竣工式出席、南欧諸国造園調査、

震ヶ関ビル・1968=79歳：造園調査やヘキスト会社庭園設計(西ドイツフランクフルト市)、

全共闘・・・1969=80歳：アメリカ、カナダの造園調査、

大阪万博・・・1970=81歳：

トルジョック・・・1971=82歳：アメリカ、メキシコの造園調査、「造園辞典」「人のつくった森～明治神宮」「永遠の杜」造成の記録」出版、

この間、「樹木図説」「庭園入門講座」「造園大系」のほとんどを担当、

角栄金脈辞任1974=85歳：エジプト、南欧の造園調査と、ほぼ10年、海外渡航を続けていたが、

クワン-ル事件1975=86歳：東京農業大学名誉教授の称号を受く。

JALハイジャック・1977=87歳：山梨県都留の「専念寺前庭」設計まで、個人庭園を含めると、研究所創立以来、240件以上を設計監理し、

成田衝突・・・1978=89歳：「造園大辞典」など、生涯にわたって*120冊ほど出版し続け、

・・・1981=92歳：東京都三鷹市新川の自宅で、心不全で没した。翌年、社団法人日本造園学会に上原敬二賞が設けられた。(東京農大出版会)上原敬二「人のつくった森」、片平幸「日本庭園像の形成」、